

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社メガチップス 上場取引所 東
コード番号 6875 URL <https://www.megachips.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥川 哲士
問合せ先責任者 (役職名) 財務部部长 (氏名) 荒木 陽子 (TEL) (06) 6399-2884
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,490	△32.8	△389	—	△752	—	△575	—
2025年3月期第1四半期	9,660	△44.1	874	△44.9	584	△55.0	2,187	129.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 20,221百万円(17.1%) 2025年3月期第1四半期 17,263百万円(611.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△34.10	—
2025年3月期第1四半期	121.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	172,065	133,344	77.2	8,061.30
2025年3月期	149,940	118,241	78.6	6,901.20

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 132,761百万円 2025年3月期 117,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	140.00	140.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	140.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、利益配分に関する基本方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	42,000	△0.8	3,000	37.0	2,700	3.5	4,000	△25.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	20,652,400株	2025年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,183,451株	2025年3月期	3,582,120株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	16,874,613株	2025年3月期1Q	17,948,534株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

昨今の世界経済は、米国をはじめとした各国の関税政策の影響が懸念される中、不確実性が一層高まっています。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学的リスクに加え、世界的なインフレ圧力の高まりにより世界経済の先行きが一層不透明となっております。日本経済は緩やかな回復基調を維持しているものの、世界経済の減速懸念や原材料価格の上昇といった要因が景気の下振れリスクとして依然存在しております。また、各国の金融政策の影響等によりドル円の為替相場は円高傾向で推移いたしました。

当社の主力であるASIC（顧客専用LSI）においては、需要減少に伴う在庫調整局面が続いているものの、AIやIoT技術の進展によって産業機器分野や通信分野の半導体需要の拡大が進展しております。このような状況の下、当社はアミューズメント分野向けにおいて顧客密着型の提案活動とサポート活動に注力するとともに、これまで培ってきた上流設計やアナログ技術、特に当社が得意とする通信インターフェース技術、セキュリティ技術や画像処理技術などを活用し、画像関連機器や成長市場である産業機器分野や通信インフラ分野向けの製品開発を進め、事業の基盤強化による収益拡大を図っております。

ASSP（特定用途向けLSI）においては、AIやIoT、5Gによる情報通信技術の革新の進展に伴って今後の成長が見込める通信分野・産業機器分野などをターゲットとした新規LSI事業の立ち上げに経営資源を集中しております。アナログ・デジタル回路の開発・設計技術の競争力強化を図るとともに、通信分野においては、MorseMicro PTY. LTD.（以下、Morse Micro社という）との資本提携及び戦略的パートナーシップによる事業化を進めており、長距離の無線通信技術を活用したLSIやモジュールを提供し、顧客のニーズに応じた幅広い通信ソリューションによる事業展開を図っております。

引き続き、当社グループは安定した収益基盤を維持しつつ、事業ポートフォリオの強化による収益拡大を図ってまいります。また、次世代を担う新たな事業の育成のため、新市場の開拓や新製品開発に取り組み、独自性のあるビジネス創出と事業化を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、主にアミューズメント事業における需要が前年同期から減少したことにより、売上高は6,490百万円（前年同期比32.8%減）、営業損失は389百万円（前年同四半期は営業利益874百万円）となりました。

経常損失は為替差損が323百万円発生したこと等により752百万円（前年同四半期は経常利益584百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は575百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,187百万円）となりました。

なお、当社グループは単一の事業セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における総資産は172,065百万円（前連結会計年度末に比べ22,124百万円の増加）となりました。

主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、主にSiTime Corporation株式の時価評価により投資有価証券が31,002百万円増加した一方で、現金及び預金が5,813百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3,774百万円それぞれ減少しております。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における負債は38,720百万円（前連結会計年度末に比べ7,020百万円の増加）となりました。

主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、繰延税金負債が9,448百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1,009百万円、未払法人税等が1,041百万円それぞれ減少しております。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産は133,344百万円（前連結会計年度末に比べ15,103百万円の増加）となりました。

主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、その他有価証券評価差額金が20,981百万円増加した一方で、利益剰余金が2,965百万円、自己株式の取得等により自己株式が2,916百万円それぞれ減少しております。

(投資有価証券 SiTime Corporation株式の時価評価による影響について)

当社が保有するSiTime Corporation（以下「SiTime社」という）株式について、2024年3月期末に持分法適用の関連会社から除外したことに伴い、関連会社株式から投資有価証券へ科目が変更となり、各決算期末に時価評価を行っております。この影響により、四半期連結貸借対照表においては、投資有価証券の額が1千億円を超える水準となり、総資産に占める投資有価証券の割合が高い状況で推移しております。あわせて、負債・純資産の部においても、相手科目となる繰延税金負債及びその他有価証券評価差額金の占める割合が高い状況となっております。

当社として、SiTime社株式については、当社の中長期における持続的成長に向けた事業構造改革を含む成長投資及び株主還元を活用する方針です。

今後においても、SiTime社株式の売却によって得られる資金は、事業の成長投資及び株主還元に充当し、最適な経営資源の配分により中長期における持続的成長に向けた事業構造改革を推進する考えであります。既存事業の強化に加え、産業機器や通信インフラ等の成長分野をターゲットとして新規事業の立ち上げを推進することで、企業価値の向上を目指してまいります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、11,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,703百万円の減少（前年同四半期は1,672百万円の減少）となりました。

また、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、447百万円の支出（前年同四半期に対し1,552百万円のマイナス）となりました。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、924百万円の収入（前年同四半期に対し3,781百万円のプラス）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失が752百万円となり、仕入債務の減少が1,009百万円、法人税等の支払額が968百万円あった一方で、売上債権の減少が3,774百万円あったことによるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,372百万円の支出（前年同四半期に対し5,334百万円のマイナス）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が608百万円、投資有価証券の取得による支出が596百万円あったことによるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5,102百万円の支出（前年同四半期に対し2,020百万円のマイナス）となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出が2,917百万円、配当金の支払額が2,370百万円あったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2026年3月期の連結業績予想値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,830,306	15,016,785
受取手形、売掛金及び契約資産	15,554,626	11,780,349
商品及び製品	2,344,448	2,428,831
仕掛品	1,902,784	2,103,569
原材料及び貯蔵品	180,879	66,624
未収入金	2,327,726	1,679,809
その他	550,300	1,412,039
貸倒引当金	△88,651	△75,345
流動資産合計	43,602,421	34,412,663
固定資産		
有形固定資産		
建物	349,265	349,255
減価償却累計額	△226,133	△231,599
建物（純額）	123,132	117,656
工具、器具及び備品	5,483,345	5,816,723
減価償却累計額	△4,150,936	△4,280,869
工具、器具及び備品（純額）	1,332,409	1,535,854
建設仮勘定	715,534	974,288
その他	1,125,654	1,068,420
減価償却累計額	△1,047,319	△925,898
その他（純額）	78,335	142,521
有形固定資産合計	2,249,411	2,770,320
無形固定資産		
ソフトウェア	658,548	663,719
その他	548	386
無形固定資産合計	659,096	664,105
投資その他の資産		
投資有価証券	101,636,005	132,638,553
長期前払費用	990,610	905,396
繰延税金資産	28,625	27,723
その他	774,703	646,614
投資その他の資産合計	103,429,945	134,218,288
固定資産合計	106,338,453	137,652,714
資産合計	149,940,875	172,065,378

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,083,074	2,073,084
未払金	1,957,173	1,265,229
未払法人税等	1,067,742	26,528
賞与引当金	459,484	205,556
工事損失引当金	478,160	467,056
その他の引当金	—	45,000
その他	916,982	1,455,817
流動負債合計	7,962,618	5,538,272
固定負債		
繰延税金負債	23,626,597	33,075,510
その他	110,257	106,611
固定負債合計	23,736,855	33,182,122
負債合計	31,699,473	38,720,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	9,359,915	9,359,915
利益剰余金	59,052,286	56,087,045
自己株式	△13,467,420	△16,384,417
株主資本合計	59,785,094	53,902,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,970,705	75,952,490
為替換算調整勘定	3,049,581	2,905,861
その他の包括利益累計額合計	58,020,286	78,858,351
非支配株主持分	436,020	583,773
純資産合計	118,241,401	133,344,982
負債純資産合計	149,940,875	172,065,378

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,660,077	6,490,515
売上原価	7,261,621	5,500,633
売上総利益	2,398,456	989,882
販売費及び一般管理費	1,523,756	1,379,635
営業利益又は営業損失(△)	874,699	△389,753
営業外収益		
受取利息	79,210	60,137
投資有価証券評価益	12,859	2,109
雑収入	2,664	2,781
営業外収益合計	94,734	65,028
営業外費用		
支払利息	221	616
投資事業組合運用損	5,060	4,560
投資事業組合管理費	—	88,108
寄付金	3,000	7,050
為替差損	365,570	323,168
雑損失	11,337	4,247
営業外費用合計	385,189	427,751
経常利益又は経常損失(△)	584,243	△752,476
特別利益		
投資有価証券売却益	4,035,377	—
特別利益合計	4,035,377	—
特別損失		
投資有価証券評価損	978,556	—
特別損失合計	978,556	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,641,064	△752,476
法人税等	1,455,776	△164,482
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,185,288	△587,993
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,187,063	△575,402
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,774	△12,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,546,417	20,981,784
為替換算調整勘定	531,873	△172,351
その他の包括利益合計	15,078,291	20,809,433
四半期包括利益	17,263,580	20,221,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,247,543	20,262,662
非支配株主に係る四半期包括利益	16,036	△41,223

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,641,064	△752,476
減価償却費	144,919	163,220
長期前払費用償却額	172,738	155,885
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,650	△13,305
賞与引当金の増減額(△は減少)	△455,975	△253,957
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△30,366	△11,103
受取利息及び受取配当金	△79,210	△60,137
支払利息	221	616
投資事業組合運用損益(△は益)	5,060	4,560
為替差損益(△は益)	98,430	270,988
投資有価証券評価損益(△は益)	965,697	△2,109
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,035,377	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,274,865	3,774,276
棚卸資産の増減額(△は増加)	△169,138	△170,913
仕入債務の増減額(△は減少)	△276,266	△1,009,990
その他の資産の増減額(△は増加)	527,431	△130,277
その他の負債の増減額(△は減少)	2,012,603	△172,177
その他	51,387	43,133
小計	△697,996	1,836,231
利息及び配当金の受取額	66,271	57,064
利息の支払額	△221	△616
法人税等の支払額	△2,225,476	△968,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,857,422	924,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	499,258	—
定期預金の預入による支出	—	△14,496
有形固定資産の取得による支出	△435,384	△608,827
無形固定資産の取得による支出	△40,521	△22,568
投資有価証券の売却による収入	4,618,638	—
投資有価証券の取得による支出	△154,679	△596,812
長期前払費用の取得による支出	△65,781	△129,678
その他	△459,575	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,961,953	△1,372,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,103,183	△2,917,288
投資事業組合等における非支配持分からの出資受入による収入	—	188,977
配当金の支払額	△1,977,304	△2,370,363
その他	△1,704	△3,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,082,192	△5,102,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	304,913	△153,561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,672,747	△5,703,643
現金及び現金同等物の期首残高	25,160,064	17,547,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,487,317	11,844,232

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

2024年2月9日開催の取締役会による決議に基づき、自己株式289,100株を取得したことにより自己株式が1,095,032千円増加した一方で、2024年6月28日付で自己株式480,000株を消却したことにより自己株式が1,564,729千円減少した結果、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は9,074,788千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

2025年5月14日開催の取締役会による決議に基づき601,200株の自己株式を取得しております。この結果、単元未満株式の買取による増加等も含め自己株式が2,916,996千円増加し、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は16,384,417千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは単一の事業セグメントであるため、記載を省略しております。